

参加者の声



旭北地区連合自治会
会長

渋谷 八郎 さん

都市緑化フェアにおいて、里山ガーデンが魅力的な拠点になりました。そこ区役所をつなぐのが白根通りと中堀川です。タウンミーティングでも“花と緑の美しいプロムナード”づくりを提案してきました。

新あさひみらい塾が始まると聞いたので、是非にと手を挙げました。将来、白根通りは花いっぱい道、中堀川はホタルが舞うせせらぎにしていきたいと夢を膨らませています。

中堀川は小中高校の教材としても優れた環境だと思えます。中堀川をはじめとして、多くの人が屋外で過ごすことで、安心・安全な地域づくりができます。これからは情報発信と具体的な実践を充実していきたいと思えます。



中堀川プロムナード水辺愛護会
会長

金子 睦雄 さん

川について話題が豊富になったことに充実感を感じています。私は地域のゴミの出し方や減らし方をみなさんに伝える仕事をしてきましたので、中堀川においても自分たちはゴミを拾って水辺の環境をきれいに維持するのが役割だと考えていました。しかし、新あさひみらい塾に参加したことで夢が大きく膨らみ、あれもこれもやりたいと新たな目標ができました。

もともと住民がとても協力的な地域です。きれいな草花を水辺に植えたり小学生の絵を飾ることで、きっとプロムナードを歩く人や活動の協力者が増えてくるでしょう。是非、ホタルが飛ぶまでやってみたいと思えます。



旭北地区
まちぐるみ福祉推進会議
第3部会長

布施 潤二 さん

第3部会では、白根通りと中堀川プロムナードの美化を活動テーマとしていたので、新あさひみらい塾の取組にのっかる形になりました。最初はちょっととまどいました。

横断的にいろいろな団体のメンバーが関わることになりました。アドバイスがあったことで新たな知恵をもらったり、スピード感のある話し合いができました。

地域企業の協力も得ることができ、とにかくやってみよう！という気持ちになっています。実践しながら少しずつ良くしていきたいと思えます。多く人が歩いてくれる旭区の名所にしたいと思っています。



上白根町内会
福祉部 部長

松田 章 さん

中堀川プロムナード整備では、準備委員会の段階から関わってきました。整備前は深さが3mもある水路でした。かつては用水路であり、周辺には田んぼが広がっていました。

住民と行政が何回も話し合い、みんなの願いが現在の形になりました。上流部はドジョウが住めるような田舎の流れ、下流部は都市的な雰囲気の流れです。

今後は、安心して散歩できて地域に愛される川になるとよいと思えます。子どもたちの絵や花で魅力的な場所にしたいと思えます。なんと言っても子どもたちは未来の旭北の宝ですから、大事に育てていきたいと思えます。

平成29年度

新あさひみらい塾 報告書



中堀川プロムナード
最上流部

旭北地区「中堀川プロムナードの美化」

中堀川プロムナードは、平成18～19年度の2か年にわたり、地域の方々の参加によるワークショップを通じて整備計画を策定しました。平成21年3月に上流部、10月に下流部がオープンしました。それ以来、中堀川プロムナード水辺愛護会の清掃活動に支えられながら、地域の憩いの場として親しまれています。



上流部と下流部
それぞれの
魅力があります。
歩いてみませんか。



新あさひみらい塾

旭区では、平成26年度から3年間、受講生が地域で活動するきっかけづくりを学ぶために「あさひみらい塾」を開催してきました。平成29年度からは、地域の様々な団体等が地域課題解決に向けて取り組む「新あさひみらい塾」を始めました。「新あさひみらい塾」では、地域課題解決力の向上を図るために、具体的な地域課題をテーマに選び、地域の皆様と検討し、課題解決に向けた活動を行います。活動の中で、地域活動の新たな担い手の発掘と育成を行います。

主催：旭区政推進課、地域振興課、特定非営利活動法人横浜プランナーズネットワーク

平成29年度は、 旭北地区のみなさんと 「中堀川プロムナードの美化」に 取り組みました!



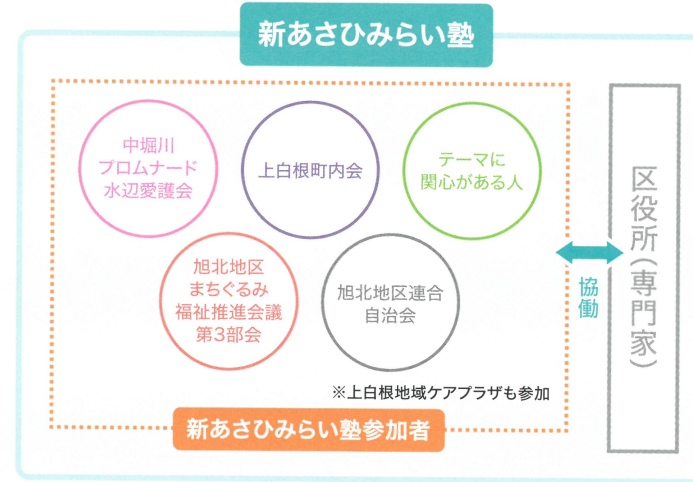
きっかけは?

旭北地区では、花と緑によるまちづくりが進められています。緑化フェアが里山ガーデンで開催されたことを契機に、「鶴ヶ峰駅方面から里山ガーデンへの通り道である白根通りや中堀川プロムナードの魅力を向上させたい」との提案が、タウンミーティングでもされました。

新あさひみらい塾開催にあたり、テーマは「中堀川プロムナードの美化」とし、同じ取組を進めている「旭北地区まちぐるみ福祉推進会議第3部会※(以下、第3部会)」や「中堀川プロムナード水辺愛護会(以下、水辺愛護会)」と連携し、流域の「上白根町内会」も加わり検討を進めることになりました。

※旭北地区の地域福祉保健計画にもとづく組織

検討の体制



中堀川プロムナードは、旭北地区だけでなく、上白根町内会や白根地区にも流れているため、中堀川プロムナード水辺愛護会にも広い地域の方々に参加して、上流部・下流部に分れて活動をしています。そのため、「新あさひみらい塾」には、「水辺愛護会」、「第3部会」、「上白根町内会」、「旭北地区連合自治会」などの団体が横断的に参加し、テーマに関心がある人が自由に参加できる柔軟な組織としました。検討の場には、専門家が加わり、会議の運営や専門的な情報提供を担っています。

話し合いが進むにつれて、参加者の友人・知人への声掛けを行い、地域の小学校や企業への協力も得るなど、活動の輪が広がっています。

活動の経過

活動の様子や将来の展望を共有

水辺愛護会と第3部会のメンバーに集まっていただき、ヒアリングを行いました。第3部会長より今年度の活動の確認、区担当者より「新あさひみらい塾」の概要説明がありました。その後、ざっくばらんに水辺愛護会の活動の様子について紹介いただきました。掃除をしていると、ありがとうと声をかけられるそうです。若いパパママに参加してもらいたい、という願いを実現しようと、大いに盛り上がりました。



2つの活動の日程調整

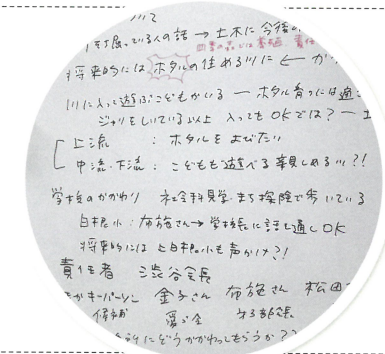
上流部は「美しさ」、下流部は「清潔さ」というキーワードが提案されました。第3部会で作成した水辺愛護会のボランティア募集のポスターを、上白根町内会でも活用することになりました。前向きな活動をめざして、活動参加者の名簿も作成し公表することになりました。花を植える場所や絵を飾る場所などを考えるため、次回、現地を歩いてみることにしました。



第1回
10月9日

第5回
12月23日

第2回
10月29日



テーマ・実施体制・進め方の確認

上白根町内会も今回から参加することになりました。今年度は「中堀川プロムナードの美化」を通じて活動の仲間を増やしていきたいと目標を設定しました。そのためには中堀川の環境づくりを進め、上流にはホテル、中流・下流は子どもたちが遊べる親しみのある川にしたい、地域の小学校にもっと関わってもらいたいという願いが語られました。実施体制とリーダーを決め、メンバーも順次増やしていくことにしました。いよいよです。



現地で実施対象箇所を設定

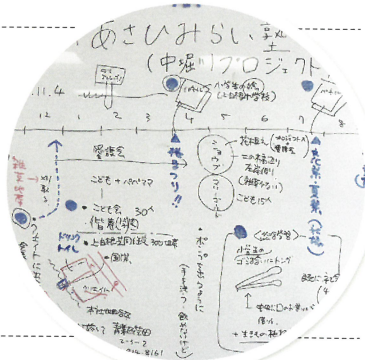
暖かい時間帯を選んで上流部の現地調査を実施し、小学生の絵を展示できそうな場所、花を植えられそうな場所を探しました。その結果、フェンス等絵を掛けることができる場所は約140m、植栽の候補地は約70mほど見つけました。花は、手始めにみなさんの目につくところ、日当たりのよいところ、子どもたちの絵と合わせやすいところとし、少しずつ増やしていくことにしました。
※下流部も2月10日に有志で現地調査を実施

第6回
1月20日

第3回
11月4日

夢の実現へのスケジュール案作成

これからの一年間でできること、したいことの実施スケジュール案を考えました。中堀川を魅力的にすることで地域のみなさんの関心を高めたい、そのためには、「近隣の自治会や子ども会、小学校の協力を得て春先に小学生に絵を描いてもらう。絵を展示する時期に合わせて花を植える。夏の文化祭や夏祭、秋の満月祭で水辺愛護会のPR。参加者に記念品をプレゼントする」などアイデアがたくさん出ました。



来年度の実施企画 +花の学習

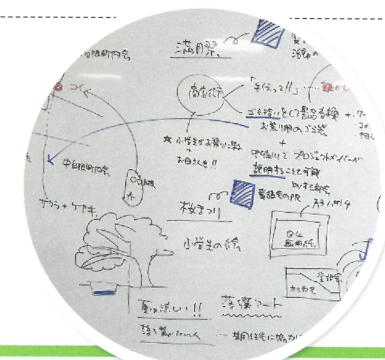
今回は特別講師として、原智里さんをお招きし、「水辺の植物」についてお話をお聞きしました。「中堀川を歩いて、みなさんが丁寧に維持管理をしている様子が伝わってきました。華やかな花を選ぶなら一年草ですが手間もかかります。地味ですが自然環境に近い演出ができるのは多年草で手間もそんなにかかりません。それに応じて土づくりも変わってきます」と丁寧な講義に、質問や意見交換も活発に交わされました。

最初は上流、下流ともに1か所ずつから始めてみましょうか、という奥村コーディネーターの提案に「上流は7、8か所できるところはどどんやってみよう!」とみなさん、意欲満々の今年度最後の勉強会でした。土づくりや花苗の調達、植える日程まで決めて、来年度の実施が待ちきれません。

第7回
3月17日



第4回
11月25日



実践に向けた手順の組立

中堀川の美化活動に参加したい人は誰でも大歓迎!という考え方を基本として、リーダーや様々な団体の協力体制を確認しました。前回出されたアイデアを実現するために、PR活動をはじめ、小学生の絵の展示方法、花植えの準備などについて具体的に話し合いました。水辺愛護会の活動を広く知ってもらうことがポイントです。

